

事務事業名		波多温泉管理事業		所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>		所属G	産業施設グループ	課長名	安部昭彦
	施策名	(38)観光の振興		担当者名	菅野豊久	電話番号	0854-40-1093
	目的:対象	市外の人・市民	意図	市内観光地を訪れ、市内で消費してもらう。		(内線)	2422
	基本事業名	(117)受け入れ施設の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	観光施設管理事業	
目的:対象	観光客	意図	受け入れ施設を整える。	0:1:3:5:0:1	中事業 中事業名	波多温泉管理事業	
				0:5:2:0:2:0			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市民の健康増進、交流の場及び憩いの施設として設置した。 施設概要 木造瓦葺平屋建て:410㎡ 浴室:男女各1 休憩室:和室10畳、和室15畳 食堂及び売店
指定管理者 波多コミュニティ協議会 指定管理期間 平成27年4月1日～H30年3月31日 (3年間)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)				
	①指定管理者との年度協定の締結	①指定管理者との基本協定、年度協定の締結				
	②指定管理料の支払い	②指定管理料の支払い				
	③各月利用状況報告受理	③各月利用状況報告受理				
	④モニタリングの実施	④モニタリングの実施				
	⑤指定管理の更新					
	⑥施設等修繕 7件					
	⑦工事発注 1件	※平成30年度より3年間、波多コミュニティ協議会が指定管理者				
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア イベント数	回	16	16	16	16
	イ 契約件数	件	4	6	10	2
	ウ 支払件数	件	4	7	11	2
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	①市民 ②市外からの入込客	ア 日本の人口	千人	127,094	126,933	126,706	125,236
		イ 人口【国勢調査(推計)】	人	39,032	38,506	37,794	37,987
		ウ 観光入込客数	万人	148.3	153.0	138.9	148.0
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	①②利用できる	ア 入湯者数	人	20,475	21,085	22,404	22,500
イ 入湯料		千円	4,229	4,856	5,173	5,000	
ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
【指定管理料】10,225千円 【工事請負費】1,944千円 【修繕費】1,443千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	11,525	11,491	13,612
		事業費計(A)	千円	11,525	11,491	13,612
	人件費	正規職員従事人数	人	2	1	1
		延べ業務時間	時間	70	100	110
		人件費計(B)	千円	274	397	448
		トータルコスト(A)+(B)	千円	11,799	11,888	14,060

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
入湯者数は約20,000人/年以上であり、利用者も定着している。 開館から年数経過し、配管及び機械設備等の老朽化が進み、計画的な更新等が必要である。特に空調設備は更新が急がれる。	H21～H22 経済対策予算 ○浄化槽修繕、泉源ポンプ更新 ○休憩室増築 H24 バイオマスチップボイラー整備	指定管理者から、今後の修繕についても、現行どおり定期的に実施してもらいたいとの要望がある。 また、バイオマスチップボイラー施設について、管理に手間がかかり過ぎ、設備自体も整備初期のものであるため不具合等があるため、改善に向けた要望がある。

事務事業名	波多温泉管理事業	所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	定期的な更新及び修繕を実施している中、今後の施設運営適正化の為、修繕箇所等の確認が必要である。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	近隣に類似施設がないため、統廃合は難しい。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	指定管理料が必要最小限であるため、今以上の事業費削減は出来ない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	機械設備維持管理業務委託及び木質チップボイラー管理を指定管理に含めた事で、事務量の軽減に繋がった。しかし、現在以上の削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	対象を市民及び雲南市への入込客数としており、対象者からは入湯料をもらっている事から公平かつ公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	運営上の問題は特にない。今後は、修繕費等の確保を定期的実施し、施設運営上支障のないよう配慮する必要がある。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
定期的な点検等による修繕箇所の確認作業を実施。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		